

北星学園大学短期大学部英文学科のグローバル人材育成

北海道ニセコ地域における企業や教育機関と連携したグローバル人材育成の取組

連絡先: 白鳥 k-shiratori@hokusei.ac.jp

取組① ニセコ地域でのインターンシップ

実施の背景

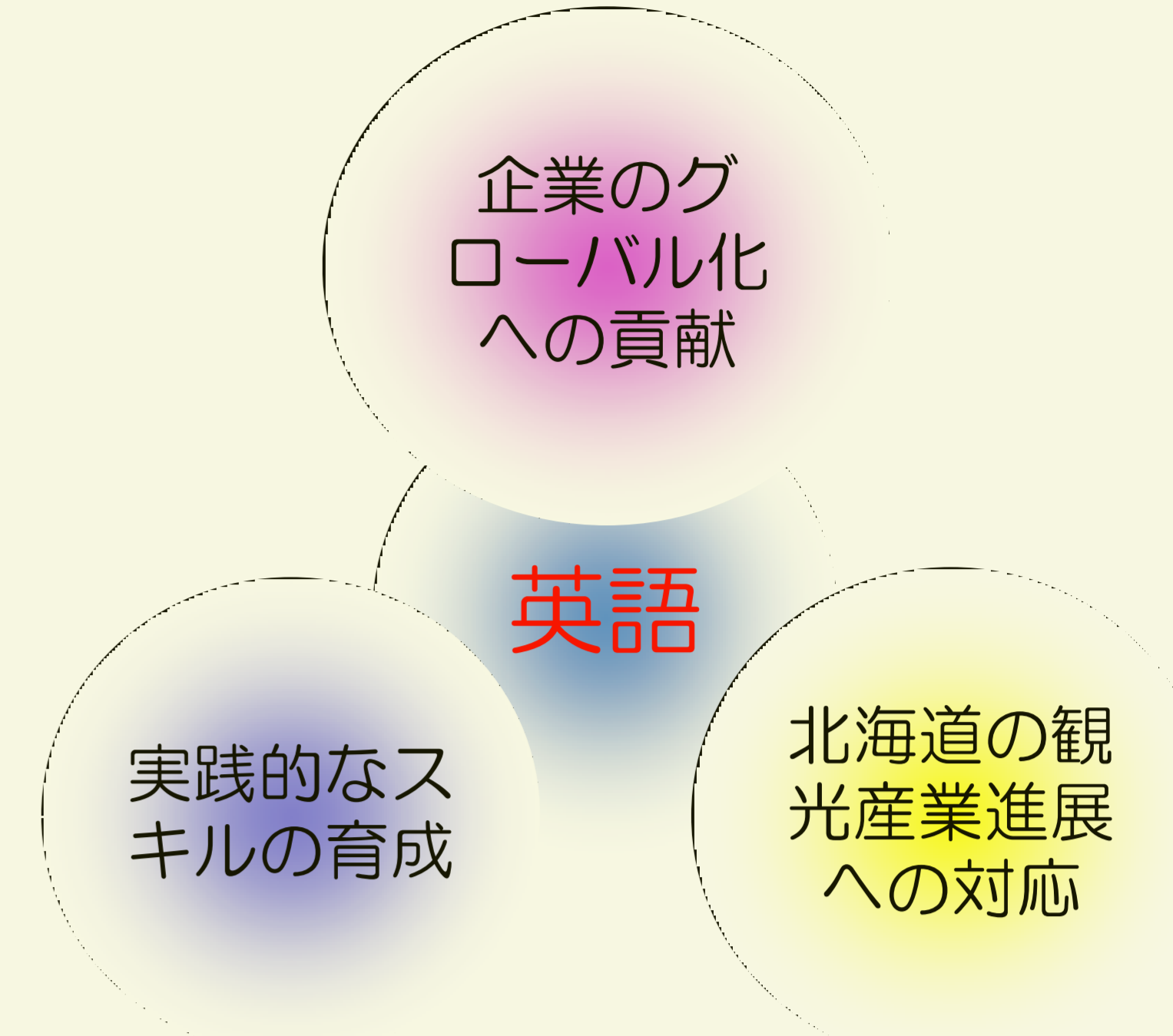
外国人観光客の増加による国際リゾート化
英語によるインターンシップが可能な環境

グローバルに活躍できる人材の育成



単位: 万人泊			単位: 人泊		
順位	市町村名	宿泊客延べ数	順位	市町村名	宿泊客延べ数
1	札幌市	1,090	1	倶知安町	143,904
2	函館市	353	2	ニセコ町	19,929
3	登別市	121	3	札幌市	18,716
4	釧路市	120	4	留寿都村	15,012
5	帯広市	97	5	富良野市	14,128
6	倶知安町	89			
12	ニセコ町	54			

図2 オーストラリアの宿泊延べ数の多い市町村
出所: 北海道経済部観光局『北海道観光入込客数調査報告書(平成25年度)』



インターンシップの概要

- 受入先 ヒルトンニセコビレッジ
- 期間等 1年生の夏休み9日間
- 単位 2単位【事前研修(ビジネス英語、マナー講座) + インターンシップ】
- 成果と課題 (学生及び受け入れ先へのアンケート; Morikoshi & Yoshida (2014))

学生

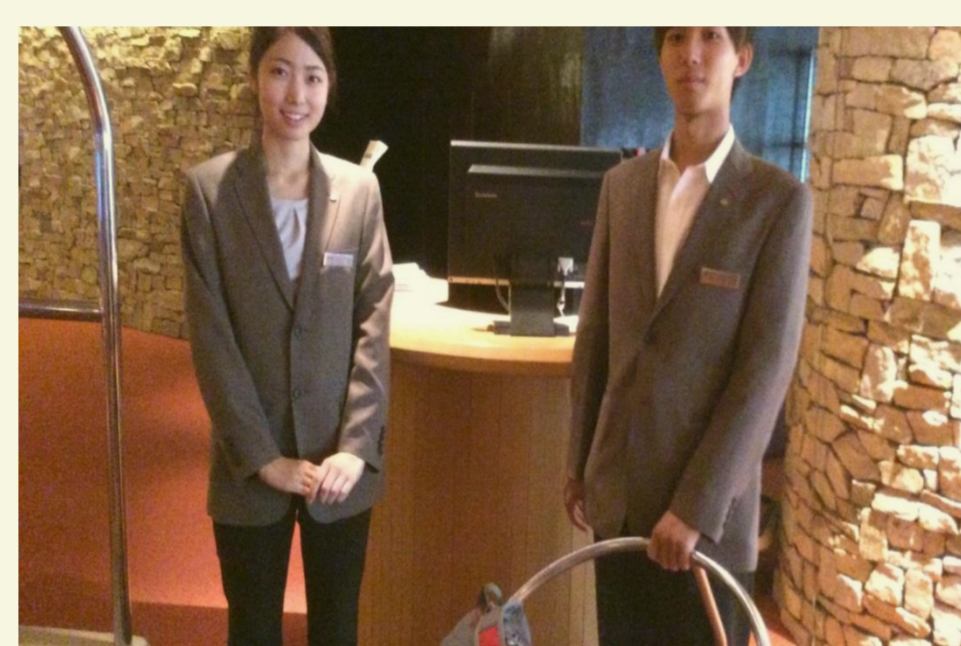
- ・観光ホスピタリティ産業について学ぶ機会
- ・外国人ゲストに英語で対応する経験は、
"Enjoyment + Frustration" → "Motivation"
- ・日/英語を使いこなすホテルスタッフへの"Respect"

受け入れ先

- ・繁忙期に学生がインターンに入ったことは利点
- ・英文学科の学生は、外国人ゲストに積極的に対応しようとしていたり、
学んだことを実践しようとしていたりする意欲が高い。
- ・ホテル業界に関する事前研修が不十分な面があった。

事前研修(5回)

- ・英語による接客フレーズをロールプレイで練習
- ・観光客向けの英語表現集の作成 など



ニセコヒルトンビレッジでの研修の様子

参加学生数

	ニセコ町	海外	渡航先
23年度	19人		
24年度	16人		
25年度	26人	5人	マレーシア
26年度	20人	25人	香港
合計	62人	30人	

※ グローバル・インターンシップ: 平成25年度からマレーシアや香港の国際空港やディズニーランドで約17日間のインターンシップを実施

取組② ニセコ町の語学学校SMILE (Niseko Language School) と連携した「ケンブリッジ英検」・「TKT(英語教授知識認定テスト)」の実施

実施の背景

グローバルに通用する英語力を示す国際資格のニーズの高まり(ケンブリッジ英検)
CEFRなど国際的な尺度や指標に基づく教授法や教員養成の必要性(TKT)

CEFRにマッピングされた唯一の語学試験

ケンブリッジ英検

- ・レベル PET(CEFR-B1レベル)
- ・実施日 2015年5月
- ・受験者 12名(1年生6名、2年生6名)
パイロット調査として実施し、全員が初受験
- ・結果 PET(B1レベル)合格 2名
A2レベル判定 10名
- ※ 今秋に第2回(30人程度)を実施予定
今後、学年全員を対象に実施を検討
- ※ SMILE: ケンブリッジ大学英語検定機構より正式に認められたケンブリッジ英検北海道試験センター

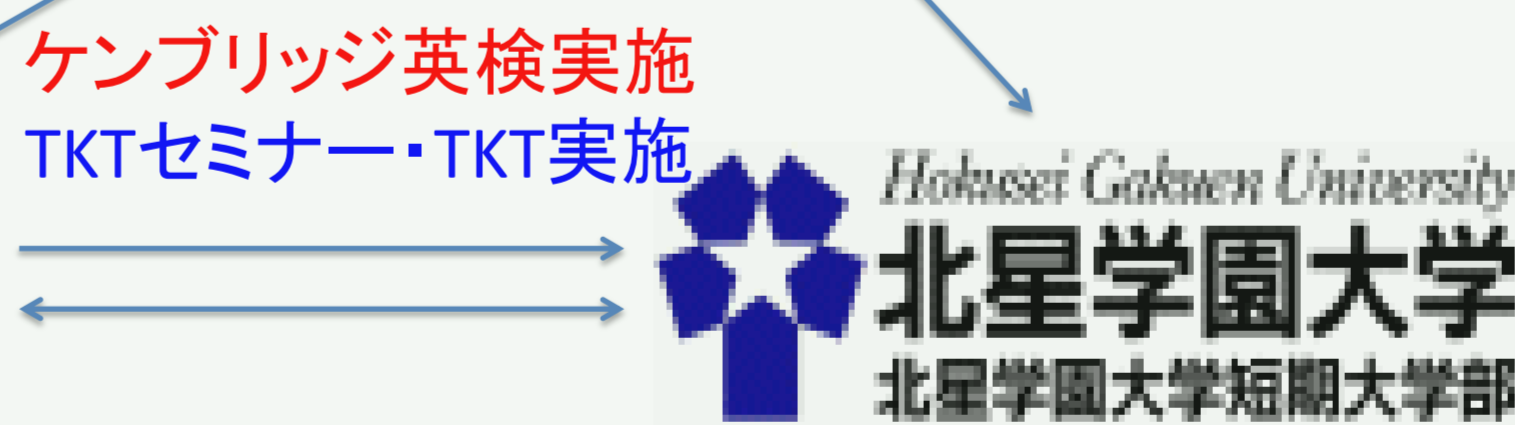
ケンブリッジ英検

(ケンブリッジ大学出版局) ケンブリッジ大学英語検定機構



ケンブリッジ英検業務監督
スピーキングテスト評価者指導
TKTセミナー講師派遣

FD講師派遣
共同発表



国際リゾートで求められる英語力の検証
教授法に関する研究

世界基準の英語指導能力認定テスト

TKT受験対策セミナー及びTKT

- ・実施日 2015年8月3~6日
- ・セミナー受講者 7名(小学校教諭1名、高校教諭2名、大学講師1名、ALT1名、日本語教師1名、教員希望学生1名)
- ・TKT受験者 9名(セミナー受講者+外国人講師2名)
- ・セミナー講師 SMILE講師及びTKTインストラクター(ニュージーランドから招聘)
- ・その他 セミナーは英語で行われることから、CEFR B1レベル以上が参加目安

TKT

受験結果 ※各技能は4段階のバンドで表示

学年	CEFR LEVEL	PET SCORE	TOEFL SCORE	Reading				Writing				Listening				Speaking			
				Weak	Exceptional	Good	Borderline	Weak	Borderline	Good	Borderline	Weak	Borderline	Good	Borderline	Weak	Borderline	Good	Borderline
2	B1	73	490	○	○														
2	A2	67	443	○			○												
2	A2	65	467	○			○												
2	A2	62	430	○			○												
2	A2	60	457	○			○												
2	A2	51	430	○			○												
2年生平均スコア		63	452.8	6	1	0	3	2	0	6	6	0							
1	B1	77	430	○		○													
1	A2	61	410	○			○												
1	A2	56	423	○			○												
1	A2	55	407	○			○												
1	A2	54	450	○			○												
1	A2	47	413	○			○												
1年生平均スコア		58.3	422.2	6	0	1	3	2	1	5	4	2							
全体平均スコア		59.1	432.7	12	1	1	6	4	1	11	10	2							

受験者全体はCEFR A2レベル

※Listening, Speakingセクションは、[Exceptional],[Good]レベルの該当者なし
※Readingセクションは、[Exceptional],[Good],[Borderline]レベルの該当者なし

【ケンブリッジ英検の結果についての考察】

- ・受験者の平均レベルは、CEFR "A2" レベル
- ・各技能について全受験者の一貫した傾向を示唆
Reading・Listening: Weak (一番下のバンド)
Writing・Speaking: Borderline (下から2番目)
- ・TOEFLとの相関は検証が必要
- ・質問紙調査
"Writing" 及び "Speaking" セクションについて、「表現力や語彙力のなさ」を実感し、「自分の考えを伝える練習が必要」との回答が多く見られた。
→指導法への示唆

教授法の知識を体系的に学ぶことができた

英語で授業を行うための指導力が身に付いた

TKTセミナー参加者の声

今後の課題

- 取組① 外国人ゲストへのカスタマーサービスで求められる英語力は、CEFRのレベルに照らしてどの程度必要かを検証
- 取組② 短大の2年間で、CEFR A2→B1レベルの英語力を身に付けさせるためのカリキュラム、教授法の開発